**Revised POLESTAR English Expression Ⅱ　観点別評価基準例**

**PART 1**

**Lesson 1 What are you going to major in at university?**

**時制を使い分ける**

①関心・意欲・態度

a. 未来を表す表現を用いて，大学に入学したら何を学びたいかを説明しようとする（→Pair Work）

b. さまざまな時制の表現を用いて，今自分が熱中していることを説明しようとする。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. ペットボトルの使用をやめるべきかどうかというテーマについて，パートナーと積極的に話し合おうとする。（→Let’s Chat）

②表現の能力

a. 現在形を用いて，現在の状態・習慣などを表す文を正しく書く／話すことができる。

b. 過去形を用いて，過去の状態，動作，習慣的動作などを表す文を正しく書く／話すことができる。

c. will, be going to V, 現在進行形を用いて，未来の予定を表す文を正しく書く／話すことができる。

d. 現在完了形，現在完了進行形を用いて，「動作の完了・結果」「現在までの経験」「現在までの状態・動作の継続」を表す文を正しく書く／話すことができる。

③理解の能力

a. さまざまな時制について，それぞれの英文の意味を理解する。

b. ペットボトルについての英文を聞いて，その概要を理解する。

④知識・理解

a. さまざまな時制の文を，それぞれの意味・用法の違いを理解し，使い分けることができる。

b. ポイントとなる上記の用法のほかに，break *one*’s leg，show up，according to ～，be into ～などの表現を習得する。

------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 2 How many languages can you speak?**

**助動詞を使い分ける**

1. 関心・意欲・態度

a.「許可・提案・依頼」を表す助動詞を用いて，電話における会話を実演しようとする。（→Pair Work）

b. さまざまな助動詞を用いて，自分が克服したい悪い習慣についてアドバイスを求める手紙を書こうとする。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. NEWaterを飲んでみたいかどうか，パートナーと積極的に話し合おうとする。（→Let’s Chat）

②表現の能力

a. can，could，be able to Vを用いて，「能力・可能」を表す文を正しく書く／話すことができる。

b. May [Can] I ～?，Shall I ～?，Could [Would] you ～?を用いて，「許可・提案・依頼」を表す文を正しく書く／話すことができる。

c. must，have to，shouldを用いて，「義務」を表す文を正しく書く／話すことができる。

d. may，can，mustを用いて，「推量・確信」を表す文を正しく書く／話すことができる。

e. can’tを用いて，「強い否定的推量」を表す文を正しく書く／話すことができる。

f.〈助動詞＋have＋過去分詞〉を用いて，「過去の事柄に対する推量」「過去の事柄に対する強い否定的推量」「過去の行為に対する非難・後悔」を表す文を正しく書く／話すことができる。

③理解の能力

a. 各助動詞の意味に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b. NEWaterについての英文を聞いて，その概要を理解する。

④知識・理解

a. 各助動詞について，それぞれの意味・用法の違いを理解し，その使い分けができる。

b. ポイントとなる上記の用法のほかに，give ～ a hand with …，persuade ～ to V，for some reasonなどの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 3　It was released by the Beatles in 1970**

**受動態を効果的に使う**

①関心・意欲・態度

a. 受動態を用いて自分のお気に入りの曲について説明しようとする。（→Pair Work）

b. 受動態の表現を用いて，日本の伝統的な物について説明しようとする。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. サグラダ・ファミリアについて，パートナーと積極的に話し合おうとする。（→Let’s Chat）

②表現の能力

a. 基本的な受動態の文を正しく書く／話すことができる。

b. 完了形の受動態，句動詞の受動態，未来を表す受動態，進行形の受動態，助動詞を含む受動態の文を正しく書く／話すことができる。

c. S is said to Vの文を正しく書く／話すことができる。

d.〈知覚動詞／使役動詞＋O＋原形不定詞〉の受動態の文を正しく書く／話すことができる。

③理解の能力

a. 受動態の意味に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b. サグラダ・ファミリアについての英文を聞いて，その概要を理解する。

④知識・理解

a. さまざまな受動態について，それぞれの意味・用法の違いを理解し，その使い分けができる。

b. ポイントとなる上記の用法のほかに，put ～ off，one of the 最上級＋名詞の複数形，originateなどの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 4　Do you know the girl talking with Mr. Brown?**

**分詞を使い分ける**

①関心・意欲・態度

a. 分詞の後置修飾を用いて，自分が最近行ったレストランについて説明しようとする。（→Pair Work）

b. 分詞を用いて，身の回りにある社会問題について説明しようとする。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. 高尾山以外に日本で人気のある山について，パートナーと積極的に話し合おうとする。（→Let’s Chat）

②表現の能力

a. 現在分詞・過去分詞を後置修飾の形で用いて，正しい文を書く／話すことができる。

b. 現在分詞・過去分詞を〈SVC〉の補語Cとして用い，正しい文を書く／話すことができる。

c. 付帯状況を表す現在分詞・過去分詞を含む文を書く／話すことができる。

d. 分詞構文（および接続詞＋分詞構文）を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

e. 独立分詞構文を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

③理解の能力

a. 分詞の意味に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b. 高尾山についての英文を聞いて，その概要を理解する。

④知識・理解

a. 各分詞について，それぞれの意味・用法の違いを理解し，その使い分けができる。

b. ポイントとなる上記の用法のほかに，bother ～，dozens of ～，accept ～ as…，in terms of～などの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 5 I think he’s the greatest innovator of our time**

**比較表現を使い分ける**

①関心・意欲・態度

a.〈The＋比較級 ～, the＋比較級 …〉の表現を用いて，自分が一番興味を持っている教科について説明しようとする。（→Pair Work）

b. 比較表現を用いて，自分の好きな食べ物について説明しようとする。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. 1995年のラグビー・ワールドカップにおいて何が起こったかをインターネットで調べ，わかったことをパートナーと積極的に話し合おうとする。（→Research and Chat）

②表現の能力

a. 形容詞・副詞の原級，比較級，最上級を用いた表現を使って，正しい文を書く／話すことができる。

b.〈the＋比較級，the＋比較級〉，〈比較級＋and＋比較級〉，〈Nothing … 比較級＋than ～〉などの表現を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

c. superior to ～の表現を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

d. no more ～ than …，no less ～ than …などの表現を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

③理解の能力

a. さまざまな比較表現の意味に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b. 2015年のラグビー・ワールドカップについての英文を聞いて，その概要を理解する。

④知識・理解

a. さまざまな比較表現について，それぞれの意味・用法の違いを理解し，その使い分けができる。

b. ポイントとなる上記の用法のほかに，a couple of ～，the biggest upsetなどの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 6 I know a lot of people whose heroes are astronauts**

**関係詞を使い分ける**

①関心・意欲・態度

a. 関係代名詞を用いて，尊敬している人について説明しようとする。（→Pair Work）

b. 有名な賞についてインターネットで調べ，関係詞を用いてそれを説明しようとする。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. 盲導犬についてインターネットで調べ，わかったことをパートナーと積極的に話し合おうとする。（→Let’s Chat）

②表現の能力

a. 人を先行詞とする関係代名詞who，that，whose，whom，物・事を先行詞とする関係代名詞which，that，whatを用いて，正しい文を書く／話すことができる。

b. 関係副詞when，where，why，howを用いて，正しい文を書く／話すことができる。

c. 先行詞を含む関係副詞／複合関係詞を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

d. 関係代名詞，関係副詞の継続用法を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

③理解の能力

a. さまざまな関係詞の意味に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b. 盲導犬についての英文を聞いて，その概要を理解する。

④知識・理解

a. さまざまな関係詞について，それぞれの意味・用法の違いを理解し，その使い分けができる。

b. ポイントとなる上記の用法のほかに，quite a few ～，go V-ing，raise *someone*’s spiritsなどの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 7 I wish I could live on a tropical island**

**仮定法を使い分ける**

①関心・意欲・態度

a. If ～ were to Vを用いて，大地震が起きたらどうするかを説明しようとする。（→Pair Work）

b. 仮定法の表現を用いて，自分がジャーナリストだったらだれにインタビューをしたいかを説明しようとする。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. もしタイムマシーンを使うことができたら，何をしたいかを想像し，それについてパートナーと積極的に話し合おうとする。（→Let’s Chat）

②表現の能力

a. 仮定法の表現を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

b. 純粋な仮定を表すwere to Vや，if節のない仮定法を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

c. if it were not for ～ / if it had not been for ～の表現を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

d.〈S wish＋仮定法〉，〈otherwise, 仮定法〉，〈as if＋仮定法〉，〈it is time＋仮定法〉の表現を用いて，正しい文を書く／話すことができる。

③理解の能力

a. 仮定法の意味に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b. タイムマシーンについての英文を聞いて，その概要を理解する。

④知識・理解

a. さまざまな仮定法について，それぞれの意味・用法の違いを理解し，その使い分けができる。

b. ポイントとなる上記の用法のほかに，be involved in ～，take ～ seriouslyなどの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**PART 2**

**Lesson 1 I can talk about human relationships**

**「家族」「交友関係」「恋愛・結婚」**

①関心・意欲・態度

a. have a good relationship，現在完了形，It’s been ～ since …などの表現を用いて，自分の家族や交友関係について説明しようとする。（→Pair Work）

b. ある有名人について調べ，その人について説明しようとする。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. 歴代のアメリカの大統領を1人選び，その人について調べた後，わかったことをパートナーと積極的に話し合おうとする。（→Research and Chat）

②表現の能力

a. 現在形，過去形，現在完了形を用いて，「現在の家族の状態」，「生まれや育ち」，「今まででどれくらい経っているか」を伝える文を正しく書く／話すことができる。

b. be getting married，be going to get marriedなどの表現を用いて，「結婚する予定だ」という意味の文を想像して書く／話すことができる。

c. consists of ～，come from ～，fall in love with ～などの表現を用いて，「家族」「恋愛」のトピックに関する文を正しく書く／話すことができる。

③理解の能力

a.「家族」「交友関係」「恋愛・結婚」に関する語いや表現に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b.「ひと目ぼれ」についての会話文を聞いて，その概要を理解する。

c. ケネディー家に関する英文を読んで，その概要を理解する。

④知識・理解

a. 本課のトピックに関する語いや表現の意味・用法を理解し，実際に自分で使うことができる。

b. ポイントとなる上記の用法のほかに，the moment SV，pass away，be known for ～などの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 2　I can talk about food and cooking**

**「食事・料理」「外食・注文」「家事・炊事」**

①関心・意欲・態度

a. How about V-ing?や(Which) would you prefer ～?などの表現を用いて，友人を食事に誘おうとする。（→Pair Work）

b. 自分の好きな人気の日本食について説明しようとする。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. ファーストフードについて，パートナーと積極的に話し合おうとする。（→Let’s Chat）

②表現の能力

a. How [What] about V-ing?を用いて相手に何かを提案したり，preferを用いて2者の好みを聞いたり伝えたりする文を正しく書く／話すことができる。

b. I’d like to have ～, please.を用いてレストランなどで注文したり，〈would like＋食べ物＋形容詞［過去分詞］〉の形を用いて食べ物の調理法の希望を伝える文を正しく書く／話すことができる。

c.〈help＋人＋with＋名詞〉や〈help＋人＋(to) V〉の形を用いて「人が～するのを手伝う」，〈would like＋人＋to V〉の形を用いて「人に～してもらいたい」という意味の文を正しく書く／話すことができる。

d. be on a diet，be rich in ～，for here or to goなどの表現を用いて，「食事」「料理」「テイクアウト」のトピックに関する文を正しく書く／話すことができる。

③理解の能力

a.「食事・料理」「外食・注文」「家事・炊事」に関する語いや表現に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b.「外食」についての会話文を聞いて，その概要を理解する。

c. インスタント麺に関する英文を読んで，その概要を理解する。

④知識・理解

a. 本課のトピックに関する語いや表現の意味・用法を理解し，実際に自分で使うことができる。

b. ポイントとなる上記の用法のほかに，buffet，go out for dinner，go well with ～などの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 3 I can talk about fashion and shopping**

**「服装」「髪型」「買い物」**

①関心・意欲・態度

a. look＋形容詞，have one’s hair cutなどの表現を用いて，相手の髪型をほめようとする。（→Pair Work）

b. 学校の制服について説明しようとする。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. ハロウィーン・パーティーに参加することを仮定し，どんな仮装をして参加したいか，その衣装をどのように用意するかについてパートナーと積極的に話し合おうとする。（→Let’s Chat）

②表現の能力

a. wearを用いて「着ている」という状態を，put onを用いて「着る」という動作を表す文を正しく書く／話すことができる。

b.〈have＋物＋過去分詞〉の形を用いて「～を…してもらう［させる］」の意味を表す文を正しく書く／話すことができる。

c. 名詞の繰り返しを避けるために，it，one，this，thatなどの代名詞を使って文を正しく書く／話すことができる。

d. look ～ wearing …，I’m looking for ～などの表現を用いて，「ファッション」「ショッピング」のトピックに関する文を正しく書く／話すことができる。

③理解の能力

a.「服装」「髪型」「買い物」に関する語いや表現に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b.「買い物」についての会話文を聞いて，その概要を理解する。

c. コスプレに関する英文を読んで，その概要を理解する。

④知識・理解

a. 本課のトピックに関する語いや表現の意味・用法を理解し，実際に自分で使うことができる。

b. ポイントとなる上記の用法のほかに，make-up，adopt，from scratch，dyeなどの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 4 I can talk about work and study**

**「仕事・面接」「専攻・試験」「入学・卒業」**

①関心・意欲・態度

a. How was [is] ～?やdo wellなどの表現を用いて，最近行われた試験について感想を述べ合おうとする。（→Pair Work）

b. 高校を卒業した後，何をしたいかについて説明しようとする。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. どんなボランティア活動に興味があるかについて，パートナーと積極的に話し合おうとする。（→Let’s Chat）

②表現の能力

a.「現在形」を用いて，職業や勤務先について表す文を正しく書く／話すことができる。

b. How was ～?を用いて終わった出来事に関して聞いたり，How’s ～?を用いて現在も続いている事柄について尋ねたりする文を正しく書く／話すことができる。

c. graduate from ～で「～を卒業する」，major in ～で「～を専攻する」という意味を表す文を正しく書く／話すことができる。

d. contact ～ on …，left school，Would it be possible to make an appointment for ～?などの表現を用いて，「会社」「入学・卒業」「面接」のトピックに関する文を正しく書く／話すことができる。

③理解の能力

a.「仕事・面接」「専攻・試験」「入学・卒業」に関する語いや表現に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b.「面接」についての会話文を聞いて，その概要を理解する。

c. 「面接」に関する英文を読んで，その概要を理解する。

④知識・理解

a. 本課のトピックに関する語いや表現の意味・用法を理解し，実際に自分で使うことができる。

b. ポイントとなる上記の用法のほかに，available，appointment，be in charge of ～，get an offerなどの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 5 I can talk about sports, health and illness**

**「運動」「健康」「病気」**

①関心・意欲・態度

a. play ～，be on ～ team，go V-ingなどの表現を用いて，学校でのスポーツの経験について尋ねたり言ったりしようとする。（→Pair Work）

b. 健康上の理由で重要な会議に出られない状況を仮定し，その会議の責任者になぜその会議に出られないかを説明するEメールを書こうとする。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. 今までにかかったことのある感染症について，パートナーと積極的に話し合おうとする。（→Let’s Chat）

②表現の能力

a.〈play＋球技名〉と，〈be on the school＋球技名＋team〉を使った文を正しく書く／話すことができる。

b. keep [stay] in good shape [health]やkeep fitを用いて「健康な状態を保つ」の意味を表す文を正しく書く／話すことができる。

c. catch [get] a coldを用いて「風邪をひく」という動作を，have a fever [temperature]を用いて「熱がある」という状態を表す文を正しく書く／話すことができる。

d. have a bad toothache，be suffering from ～などの表現を用いて，「健康状態」を表す文を正しく書く／話すことができる。

③理解の能力

a.「運動」「健康」「病気」に関する語いや表現に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b.「運動」についての会話文を聞いて，その概要を理解する。

c. マラリアに関する英文を読んで，その概要を理解する。

④知識・理解

a. 本課のトピックに関する語いや表現の意味・用法を理解し，実際に自分で使うことができる。

b. ポイントとなる上記の用法のほかに，have an operation on ～，have a temperature，hurt one’s knee，stop the disease from spreadingなどの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 6 I can talk about travel plans**

**「旅行・観光・交通」「休暇・宿泊」**

①関心・意欲・態度

a. What are your plans for ～?やbe planning to Vなどの表現を用いて，休暇の予定を尋ねたり言ったりしようとする。（→Pair Work）

b. 2日間の旅行の2日目であると仮定し，昨日したことと今日これからすることについて友人に伝える文章を書こうとする。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. タクシーに乗った経験について，パートナーと積極的に話し合おうとする。（→Let’s Chat）

②表現の能力

a. be planning to Vやbe going to V，現在進行形を用いて自分の予定についての文を正しく書く／話すことができる。

b. How was [were] ～?，spent ～ V-ing，had a good time V-ingなどの表現を用いて，休日などにしたことを尋ねたり答えたりする文を正しく書く／話すことができる。

c. go on a school trip，be famous for ～などの表現を用いて，「旅行」「観光」のトピックに関する文を正しく書く／話すことができる。

③理解の能力

a.「旅行・観光・交通」「休暇・宿泊」に関する語いや表現に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b.「旅行」についての会話文を聞いて，その概要を理解する。

c. ロンドンのタクシーに関する英文を読んで，その概要を理解する。

④知識・理解

a. 本課のトピックに関する語いや表現の意味・用法を理解し，実際に自分で使うことができる。

b. ポイントとなる上記の用法のほかに，be known for / as ～，look forward to V-ing，surpass，currentlyなどの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 7** **I can talk about natural disasters and the environment**

**「自然災害」「環境問題」「自然保護」**

①関心・意欲・態度

a. reduce wasteやrecycleなどの表現を用いて，無駄をなくすためにどんな努力をして

いるかを尋ねたり言ったりしようとする。（→Pair Work）

b.「どうしたら私たちは環境にやさしくなれるか」について自分の意見を説明しようとする。（→Can-Do Check! / Short Speech）

c. インターネットで気候変動についての情報を集め，わかったことをクラスで積極的に発表しようとする。（→Research and Report）

②表現の能力

a. hitや～ people were killed [injured] (in …)などの表現を用いて「自然災害が～を襲う」「～人が死亡した［けがをした］という意味を表す文を正しく書く／話すことができる。

b. reduce waste，recycle，collect ～ for recyclingなどの表現を用いて「無駄を減らす」「～をリサイクルする」という意味を表す文を正しく書く／話すことができる。

c. become extinct，die out，endangered，be disappearing [dying out]などの表現を用いて，「絶滅」に関する文を正しく書く／話すことができる。

d. the Earth’s temperature is rising，natural disastersなどの表現を用いて「地球温暖化」「環境問題」のトピックに関する文を正しく書く／話すことができる。

③理解の能力

a.「自然災害」「環境問題」「自然保護」に関する語いや表現に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b.「環境問題」についての会話文を聞いて，その概要を理解する。

c. 2011年のタイの洪水被害に関する英文を読んで，その概要を理解する。

④知識・理解

a. 本課のトピックに関する語いや表現の意味・用法を理解し，実際に自分で使うことができる。

b. ポイントとなる上記の用法のほかに，face，fossil fuel，renewable energy sources，conventional，widespreadなどの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 8 I can talk about language and culture**

**「言語・民族・文化」「国際社会・異文化理解」**

①関心・意欲・態度

a. How do you say ～ in …?やThere is no ～ word for …などの表現を用いて，ある単語が別の言語ではどんな風に説明できるかを尋ねたり言ったりしようとする。（→Pair Work）

b.海外から日本に導入されたものについての文章を書いて，それをクラスで発表しようとする。（→Can-Do Check!／Short Speech）

c. 英語への直訳が難しそうな日本語について考え，その意味についてパートナーと積極的に話し合おうとする。（→Let’s Chat）

②表現の能力

a. speak ～ as … languageなどの表現を用いて，「言語」について表す文を正しく書く／話すことができる。

b. How do you say ～ in …?やThere is no English equivalent for ～.などの表現を用いて，ある単語を別の言語ではどう言うかなどを尋ねたり伝えたりする文を正しく書く／話すことができる。

c. immigrants，immigrate，emigrateなどの表現を用いて「移民」について伝える文を正しく書く／話すことができる。

d. before the introduction of ～，～ has been influenced by …などの表現を用いて「日本語」「日本文化」のトピックに関する文を正しく書く／話すことができる。

③理解の能力

a.「言語・民族・文化」「国際社会・異文化理解」に関する語いや表現に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b.「言語」についての会話文を聞いて，その概要を理解する。

c. ワンガリ・マータイ氏に関する英文を読んで，その概要を理解する。

④知識・理解

a. 本課のトピックに関する語いや表現の意味・用法を理解し，実際に自分で使うことができる。

b. ポイントとなる上記の用法のほかに，say a prayer，with the introduction of ～，research shows that ～，stress the importance of ～などの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 9 I can talk about the media and entertainment**

**「ニュース」「メディア」「エンターテインメント」**

①関心・意欲・態度

a. get ～ news，check ～ online，rely on ～ for …，subscribe to ～などの表現を用いて，どのように最新のニュースを得ているかを尋ねたり言ったりしようとする。（→Pair Work）

b. いろいろな人に知ってほしいウェブサイトについて説明しようとする。（→Can-Do Check!／Short Speech）

c. 自分のお気に入りの本について，パートナーと積極的に話し合おうとする。（→Let’s Chat）

②表現の能力

a. get information，get newsなどの表現を用いて「情報やニュースを得る」という意味の文を正しく書く／話すことができる。

b. worth V-ingの形を用いて「Vする価値がある」という意味の文を正しく書く／話すことができる。

c. findを用いて「～は…だとわかる」という意味の文を正しく書く／話すことができる。

d.「現在完了の経験」を表す関係代名詞節によって限定される「形容詞の最上級＋名詞」の表現を用いて正しく文を書く／話すことができる。

e. the most popular ～ ever written，～ has changed the way SVなどの表現を用いて，「本とテレビ」「インターネット」に関する文を正しく書く／話すことができる。

③理解の能力

a.「ニュース」「メディア」「エンターテインメント」に関する語いや表現に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b.「メディア」についての会話文を聞いて，その概要を理解する。

c. アンデルセンに関する英文を読んで，その概要を理解する。

④知識・理解

a. 本課のトピックに関する語いや表現の意味・用法を理解し，実際に自分で使うことができる。

b. ポイントとなる上記の用法のほかに，subscribe to ～，publish，turn into ～などの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 10 I can talk about history and tradition**

 **「遺産・建築物」「伝統芸能・文化」「歴史」**

①関心・意欲・態度

a. one of the＋形容詞の最上級＋複数名詞，be regarded as ～などの表現を用いて，自分の一番好きなもの・ことについて尋ねたり言ったりしようとする。（→Pair Work）

b. 有名な歴史上の人物について説明しようとする。（→Can-Do Check!／Short Speech）

c. ウィリアム・メレル・ヴォーリズ氏が設計した建物についてインターネットでいくつか調べ，わかったことをパートナーと積極的に話し合おうとする。（→Research and Chat）

②表現の能力

a.〈one of the＋形容詞の最上級＋複数名詞〉の形を用いて，「自分が知る限り一番～だ」という意味の文を正しく書く／話すことができる。

b. beginやoriginateなどを用いて「期限」について表す文を正しく書く／話すことができる。

c. take placeを用いて「（歴史的な出来事が）起こる」という意味の文を正しく書く／話すことができる。

d. served as ～，the origin of ～，～ dates back to …などの表現を用いて，「建築」「伝統芸能」のトピックに関する文を正しく書く／話すことができる。

③理解の能力

a.「遺産・建築物」「伝統芸能・文化」「歴史」に関する語いや表現に注意して，それぞれの英文の意味を理解する。

b.「文化」についての会話文を聞いて，その概要を理解する。

c. ウィリアム・メレル・ヴォーリズ氏に関する英文を読んで，その概要を理解する。

④知識・理解

a. 本課のトピックに関する語いや表現の意味・用法を理解し，実際に自分で使うことができる。

b. ポイントとなる上記の用法のほかに，perfect，it is said that ～，～ has influenced…，have a ～ influence on …，lead ～ to Vなどの表現を習得する。

-------------------------------------------------------------------------------------

**PART 3**

**Lesson 1 The paragraph and its topic sentence**

①関心・意欲・態度

a．パラグラフとは何か，またその構成要素はどのようなものか，ということを意欲的に知ろうとする。（→Model Paragraph）

b. パラグラフの概念を理解し，あるテーマに沿った内容のパラグラフを積極的に書こうとする。

　（→Practice C）

②表現の能力

a．first, second…などの表現を用いて，物事を順序立てて説明できる。

③理解の能力

a．パラグラフ中にある主題文，支持文，結論文を指摘することができる。

b．主題文と結論文が空所になったパラグラフを読んで，そのパラグラフの内容に合うように，主題文と結論文を書くことができる。

④知識・理解

a．「定期的に運動すること」について書かれた英文を読み，その内容を理解することができる。

b．「日本を観光するのにいちばんいい季節」をテーマにした英文を書き，またそれについて口頭でも説明することができる。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 2 Supporting sentences (1) －explanation / definition and classification**

①関心・意欲・態度

a. 物事をわかりやすく説明したり，ある言葉の意味を定義したり，ある事柄をいくつかの種類に分類して説明する文章を書こうとする。（→Practice C）

②表現の能力

a.「説明／定義」「分類」の支持文の展開パターンを用いて，物事を説明できる。

③理解の能力

a.「説明／定義」「分類」の違いをきちんと理解できる。

④知識・理解

a.「地球温暖化」「日本の世界遺産」について書かれた英文を読み，その内容を理解することができる。

b.「自分の好きな映画」について簡潔な英語で書き表し，また口頭でも説明することができる。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 3 Supporting sentences (2) －illustration and listening**

①関心・意欲・態度

a．英語で何かを言い表したり，説明したりするときに，具体的な「例」を挙げて説明しようとする。（→Practice C）

②表現の能力

a．for example, such as ～，like～など，「例示」に使われるシグナル・ワードを適切に用いることができる。

b．one, some, otherなど，「列挙」に使われるシグナル・ワードを適切に用いることができる。

③理解の能力

a．「例示」と「列挙」の違いをきちんと理解できる。

b．「例示・列挙」のシグナル・ワードを含んだ支持文を用いて，テーマに沿ったパラグラフを書くことができる。

④知識・理解

a．「余暇」について書かれた英文を読み，その内容を理解することができる。

b．「海外留学の利点」について簡潔な英語で書き表し，また口頭でも説明することができる。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 4 Supporting sentences (3) －comparison and contrast**

①関心・意欲・態度

a．2つ以上の違うものを比べて，その間にある共通点・相違点を挙げて説明しようとする。（→Practice C）

②表現の能力

a．like, alike, similar, the sameなど，「共通点」を表す際に使われるシグナル・ワードを適切に用いることができる。

b．different, unlike, but, on the other handなど，「相違点」を表す際に使われるシグナル・ワードを適切に用いることができる。

③理解の能力

a．「比較」と「対照」の違いをきちんと理解できる。

b．「比較・対照」の支持文を用いて，テーマに沿ったパラグラフを書くことができる。

④知識・理解

a．「自然エネルギーを用いる発電」について書かれた英文を読み，その内容を理解することができる。

b．「旅行代理店の求人」について簡潔な英語で書き表し，また口頭でも説明することができる。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 5 Supporting sentences (4) －cause and effect**

①関心・意欲・態度

a．ある事象を説明する際に，「原因」と「結果」を明確に区別した上で，それらを使ってきちんと伝えようとする。（→Practice C）

②表現の能力

a．because, sinceなど，「原因」に使われるシグナル・ワードを用いることができる。

b．result in ～, lead to ～, that’s why～など，「結果」に使われるシグナル・ワードを用いることができる。

③理解の能力

a．「原因」と「結果」の違いをきちんと理解できる。

b．「原因→結果」「結果→原因」の支持文のパターンを用いて，テーマに沿ったパラグラフを書くことができる。

④知識・理解

a．「ファースト・フード」について書かれた英文を読み，その内容を理解することができる。

b．「公共交通機関」について簡潔な英語で書き表し，また口頭でも説明することができる。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 6 Supporting sentences (5) －Time order**

①関心・意欲・態度

a．ある事柄を説明するために，「時間の順序」を明確に意識した上できちんと伝えようとする。（→Practice C）

②表現の能力

a．first, then, last, finallyなど，「時間の順序」を表すシグナル・ワードをパラグラフの中で効果的に用いることができる。

③理解の能力

a．「時間の順序」を表すシグナル・ワードを用いて，「時間の順序」に沿ったパラグラフを書くことができる。

④知識・理解

a．「音楽メディアの変遷」について書かれた英文を読み，その内容を理解することができる。

b．「握り寿司の歴史」について簡潔な英語で書き表し，また口頭でも説明することができる。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 7 Writing a paragraph －choosing supporting sentences**

①関心・意欲・態度

a．支持文のパターンにどのようなものがあるかを理解し，それらを積極的に使おうとする。（→Model Paragraphs）

b. 適切な指示文のパターンを使い分けて，まとまりのあるパラグラフを書こうとする。（→Practice C）

②表現の能力

a．「例示・列挙」，「比較・対照」，「原因・結果」，「時間の順序」のシグナル・ワードをそれぞれ使い分けることができる。

③理解の能力

a．どのような場合にどのシグナル・ワードを使ったらよいかの判断ができる。

b. テーマに沿ったパラグラフを書くために，最適な支持文のパターンを選択することができる。

④知識・理解

a．「犬と猫」「犬と健康」について書かれた英文を読み，その内容を理解することができる。

b．「クリーンなエネルギー源」について論じた英文を書き，また口頭でも説明することができる。

-------------------------------------------------------------------------------------

**PART 4**

**Lesson 1 I can write about my experiences**

①関心・意欲・態度

a．与えられた語数内で，自分が今までに受け取った最高のプレゼントについて英語で書き，それを口頭で説明しようとする。（→Presentation）

②表現の能力

a．自分の経験について，過去形や現在完了形を適宜使い分けて説明することができる。

③理解の能力

a．4つのステップのグループ・ワークを通して，自分の経験を英語で説明するための方法を理解している。

④知識・理解

a．「今までもらったプレゼント」について，簡潔な英語で書き表し，また口頭でも説明することができる。

b．「忘れられない本」について，簡潔な英語で書き表し，また口頭でも説明することができる。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 2 I can explain Japanese traditions and customs**

①関心・意欲・態度

a．与えられた語数内で，日本の伝統文化や習慣について英語で書き，それを口頭で説明しようとする。（→Presentation）

②表現の能力

a．日本語の表現を，or（すなわち，つまり）などの表現を用い，英語で言い換えて説明できる。

b．お正月などの日本特有のイベントについて，いつ始まっていつ終わるかなどをきちんと説明することができる。

③理解の能力

a．4つのステップのグループ・ワークを通して，日本の伝統文化や習慣を英語で説明するための方法を理解している。

④知識・理解

1. 「お正月」について，簡潔な英語で書き表し，また口頭でも説明することができる。
2. 「福袋」について，簡潔な英語で書き表し，また口頭でも説明することができる。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 3 I can write about imaginary situations**

①関心・意欲・態度

a．与えられた語数内で，架空の状況を想定した文を英語で書き，それを口頭で説明しようとする。（→Presentation）

②表現の能力

a．仮定法過去の表現を効果的に用いて説明することができる。

③理解の能力

a．4つのステップのグループ・ワークを通して，架空の状況について自分ならどうするかをきちんと順序立てて説明する方法を理解している。

④知識・理解

a．「無人島に何を持っていくか」というテーマについて，簡潔な英語で書き表し，また口頭でも説明することができる。

b．「タイム・マシンがあったらどこに行きたいか」というテーマについて，簡潔な英語で書き表し，また口頭でも説明することができる。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 4 I can express my opinions in writing**

①関心・意欲・態度

a．与えられた語数内で，決められた主題について自分の意見・考えを英語で説明しようとする。（→Presentation）

②表現の能力

a．長所や短所を挙げた上で，自分の意見や主張を相手に伝えることができる。

b. 英語で自分の立場を明確に示した上で，どうすべきなのかを英語で主張することができる。

③理解の能力

a．4つのステップのグループ・ワークを通して，あるテーマに対して自分はどう考えているかを正しく述べる方法を理解している。

④知識・理解

a．「小学生が携帯電話を持つべきか否か」というテーマについて，簡潔な英語で書き表し，また口頭でも説明することができる。

b．「紙の辞書と電子辞書のどちらがいいか」というテーマについて，簡潔な英語で書き表し，また口頭でも説明することができる。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 5 I can use comparisons to argue my point**

①関心・意欲・態度

a．対立する2つの概念のどちらか一方の立場になって，与えられた語数内でその長所を述べて，その立場を英語で説明しようとする。（→Presentation）

②表現の能力

a．moreoverなどのシグナル・ワードを用いて，いくつかの理由・事柄を列挙して論じることができる。

b. 理由を述べた後で，thereforeなどのシグナル・ワードを用いて，自分なりの結論を述べることができる。

③理解の能力

a．4つのステップのグループ・ワークを通して，2つの主題についてそれぞれの長所を挙げながら英語で説明するための方法を理解している。

④知識・理解

a．「『1人で勉強すること』と『グループで勉強すること』はどちらが役立つか」というテーマについて，自分の考えを簡潔な英語で書き表し，また口頭でも説明することができる。

b．新聞，テレビ，インターネットという3つのメディアの特性を考えた上で，それぞれをどのように使い分けているかを英語で書き表し，また口頭でも説明することができる。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 6 I can write a letter with my own message**

①関心・意欲・態度

a．与えられた語数内で，架空の手紙を英語で書き，自分なりのメッセージを読み手に伝えようとする。（→Presentation）

②表現の能力

a．Dear ～で始まり，Sincerely yours,などで結ぶ，手紙文特有の表現をきちんと用いて手紙を書くことができる。

b. I’m wondering whether you would be kind enough to ～などのていねいな英語表現を用いて，相手に依頼することができる。

③理解の能力

a．4つのステップのグループ・ワークを通して，英語の手紙の中で自分のメッセージを読み手に効果的に伝えるための方法を理解している。

④知識・理解

a．「自分がジャーナリストだったら，だれにインタビューしたいか」というテーマについて，自分の考えをまとめ，その人に宛ててインタビューを依頼したい旨の手紙文を簡潔な英語で書き，また口頭でも説明することができる。

b．「スピーチ・コンテスト」に優勝した友人にお祝いの言葉を述べ，祝賀会を開きたい旨を伝える手紙を書くことができ，また口頭でも説明することができる。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 7 I can use data to write reports**

①関心・意欲・態度

a．与えられた語数内で，提示された図表やグラフなどのデータをもとに，それらから読み取れることや自分の意見を英語で説明しようとする。（→Presentation）

②表現の能力

a．increaseやdecreaseなどの表現を用いて，グラフや表の数値の推移を説明することができる。

③理解の能力

a．4つのステップのグループ・ワークを通して，図表やグラフなどのデータをもとに，読み取れる内容や自分の意見を英語で説明するための方法を理解している。

④知識・理解

a．「留学についての調査」のグラフや表を見て，その内容について自分なりに読み取ったことを簡潔な英語で書き表し，また口頭でも説明することができる。

b．「子供の好きな料理ベストテンの推移」の一覧を見て，自分なりに読み取ったことを簡潔な英語で書き表し，また口頭でも説明することができる。

-------------------------------------------------------------------------------------

**PART 5**

**Lesson 1 I can deliver a speech**

①関心・意欲・態度

a. 自分の通う学校の良い点をアピールするスピーチ原稿を作成し，その内容をクラスで積極的に発表しようとする。（→Practice）

b. 自分の住む都道府県の良い点をアピールするスピーチ原稿を作成し，その内容をクラスで積極的に発表しようとする。（→Further Speech）

②表現の能力

a．スピーチにおいて，あいさつ，自己紹介，スピーチの概略をわかりやすく提示して説明できる。

b. スピーチにおいて，自分の意見を述べる上で必要となる表現を駆使して，最後に結論を述べたり，その主張をまとめたりすることができる。

③理解の能力

a．モデルとなるスピーチの英文を読んで，トピックやそれに関する情報や意見，提案などを理解できる。

b. クラスメイトのスピーチを聞いて，その内容をほぼ正確に理解することができる。

④知識・理解

a. スピーチに関して基本的な構成を理解し，実際のスピーチの場面での注意点を理解している。

b. 提示されたスピーチのトピックに関し，その背景知識や語彙・表現を習得している。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 2 I can make a presentation**

①関心・意欲・態度

a. 地球温暖化を止めるために何ができるかを説明するためのプレゼンテーションの原稿を作成し，その内容をクラスで積極的に発表しようとする。（→Practice）

b. 日本に影響を及ぼしている社会問題を挙げ，その解決方法を提案するためのプレゼンテーションの原稿を作成し，その内容をクラスで積極的に発表しようとする。（→Further Presentation）

②表現の能力

a．プレゼンテーションにおいて，そのテーマ・トピックに応じて，情報や意見，提案などをわかりやすく説明できる。

b. プレゼンテーションにおいて，非言語コミュニケーションにも留意して発表することができる。

③理解の能力

a. モデルとなるプレゼンテーションの英文を読んで，トピックやそれに関する情報や意見，提案などを理解できる。

b. クラスメイトのプレゼンテーションを聞いて，その内容をほぼ正確に理解できる。

④知識・理解

a. プレゼンテーションに関して，基本的な構成を理解し，実際のプレゼンテーションの場面での注意点を理解している。

b. プレゼンテーションに関してスライドの効果的な使い方を理解している。

c. 提示されたプレゼンテーションのトピックに関し，その背景知識や語彙・表現を習得している。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 3 I can conduct a discussion**

①関心・意欲・態度

a. 学校内での携帯電話の使用を禁止すべきか否かというテーマについて，グループで積極的にディスカッションを行おうとする。（→Practice）

b. 救急車の出動は無料を維持すべきか否かというテーマについて，グループで積極的にディスカッションを行おうとする。（→Further Discussion）

②表現の能力

a．ディスカッションにおいて，あいさつ・テーマの明示の後，互いの意見を尊重しながら個々の意見を述べ，最後に参加者の発言内容をまとめることができる。

b. ディスカッションにおいて，それぞれの役割分担に応じた発言をすることができる。

③理解の能力

a．モデルとなるディスカッションの英文を読んで，参加者それぞれの意見や最終的な結論を理解できる。

b. ディスカッションにおいて，クラスメイトの意見を聞いて，内容を正確に理解できる。また適切に評価できる。

④知識・理解

a. ディスカッションに関して基本的な手順を理解し，その進行上の注意点を理解している。

b. 提示されたディスカッションのトピックに関して，その背景知識や語彙・表現を習得している。

-------------------------------------------------------------------------------------

**Lesson 4 I can take part in a debate**

①関心・意欲・態度

a.「日本は商業捕鯨を禁止すべきか」という命題について，積極的にディベートに参加しようとする。（→Practice）

b.「日本はもっと移民を受け入れるべきか」という命題について，積極的にディベートに参加しようとする。（→Further Debate）

②表現の能力

a. ディベートにおいて，開会の言葉から始まり，肯定側と否定側がそれぞれの立場に即して主張を述べ合い，最後に司会者が審査員に判定結果を発表してもらい，閉会するまでのことができる。

b. ディベートにおいて，立論，質疑，反論，総括など，それぞれの段階に応じて発言することができる。

③理解の能力

a. モデルとなるディベートの英文を読んで，肯定側と否定側のそれぞれの主張を理解できる。

b. ディベートにおいて，クラスメートの主張を聞いて，内容を正確に理解できる。また，事前に評価シートを作るなどして，それに基づいて勝敗を判定できる。

④知識・理解

a. ディベートに関して基本的な流れを理解し，実際に進める上での注意点を理解している。

b. 提示されたディベートの論題に関し，その背景知識や語彙・表現を習得している。